

第3ステージ「学校マネジメント4つの観点」に係る評価基準

「芯の通った学校組織」推進プラン第3ステージ（本文 p.40）

領域	項目	S	A	B
観点Ⅰ	学校の教育目標、重点目標等の設定・共有 (Plan)	① 育成を目指す資質・能力を踏まえた 家庭・地域と共有できる明確な 学校の教育目標、教育目標の達成に向けた課題を捉えた重点目標、短期の検証・改善が可能で、重点目標の達成に近づく 妥当な根拠や理由を説明できる 重点的取組及び取組指標となっている。 ② Aに同じ。	① 育成を目指す資質・能力を踏まえた学校の教育目標、教育目標の達成に向け課題を捉えた重点目標、短期の検証・改善が可能で、重点目標の達成に近づくことがイメージできる重点的取組及び取組指標となっている。 ② 管理職の下、主任等を中心に教職員に関わらせながら「学校評価の4点セット」が策定され、その内容が全教職員で共通理解されている。	「A」評価に達していない場合
観点Ⅱ	短期及び年度を跨いだ検証・改善の実施 (Check・Action)	① 客観的なデータを用いて取組指標に基づく取組状況の確認や達成指標に基づく達成状況の確認、児童生徒の実態把握を効率的に行った上で、重点的取組の有効性や取組指標の妥当性の検証と改善方策の検討が、「 検証・改善プロセス 」に沿って 効果的 に行われている。	① 客観的なデータを用いて取組指標に基づく取組状況の確認や達成指標に基づく達成状況の確認、児童生徒の実態把握を効率的に行った上で、重点的取組の有効性や取組指標の妥当性の検証と改善方策の検討が年度の中で繰り返し行われ、その検証結果を元に次年度の「学校評価の4点セット」が策定されている。	
観点Ⅲ	主任等が効果的に機能する学校運営体制（ミドル・アップダウン・マネジメント、効果的・効率的なチーム体制の構築）	① 重点目標の達成に向けた「検証・改善体制」の中で、以下の役割と責任が主任等によって 果たされている 。 ※役割と責任はAに同じ。 ② 会議・分掌・行事等の見直しにより 学校運営が効率化され るとともに、少数職種・専門スタッフや福祉・警察等の関係機関との連携体制が構築され、 日常的な情報共有が十分 に行われている。	① 重点目標の達成に向けた「検証・改善体制」の中で、以下の役割と責任が主任等に与えられている。 ・運営委員会での具体的な取組の提案 ・教職員に対する校長の運営方針の周知、取組の進捗管理等での指導・助言 ・他の学年・分掌主任等との連携・協議 ② 会議・分掌・行事等の見直しと、少数職種・専門スタッフや福祉・警察等の関係機関との連携体制が構築されている。	
観点Ⅳ	学校・家庭・地域による目標の協働達成 (目標協働達成)	① 目標協働達成に向けたチームが組織され、児童生徒の現状・課題、学校の教育目標や「学校評価の4点セット」等の取組内容が 熟議され、取組や行事等の質の向上と精選・見直し、家庭・地域との役割分担の明確化・適正化 が図られている。	① 目標協働達成に向けたチームが組織され、児童生徒の現状・課題、学校の教育目標や「学校評価の4点セット」等の取組内容が共有されている。	

※主任等：教務主任や研究主任、学年主任、及び各重点目標を担う分掌主任等の主要な主任。